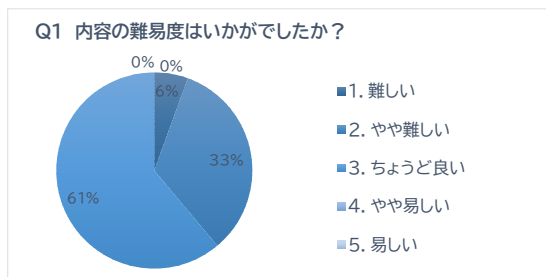


# 第7次南知多町総合計画 第3回評価委員会 参加者アンケート 集計結果

<当日出席委員数:21名 回答者数:19名 回答率:90%>  
 ※未回答により母数が異なる設問があります。

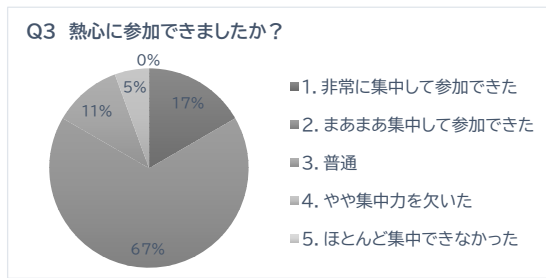
Q1 内容の難易度はいかがでしたか？	(人)	(%)
1. 難しい	1	6%
2. やや難しい	6	33%
3. ちょうど良い	11	61%
4. やや易しい	0	0%
5. 易しい	0	0%



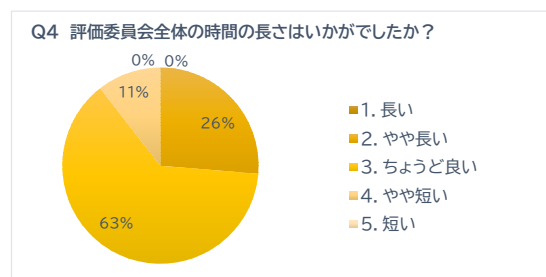
Q2 内容の理解度はいかがですか？	(人)	(%)
1. 大変よくわかった	2	10%
2. 概ねわかった	6	32%
3. ある程度わかった	11	58%
4. あまりわからなかった	0	0%
5. ほとんどわからなかった	0	0%



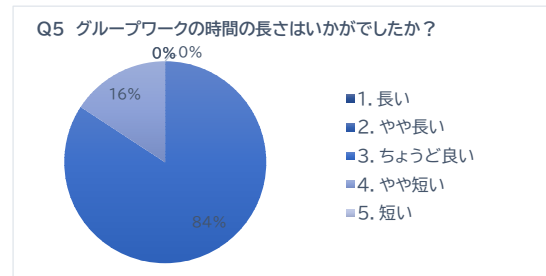
Q3 熱心に参加できましたか？	(人)	(%)
1. 非常に集中して参加できた	3	17%
2. まあまあ集中して参加できた	12	67%
3. 普通	2	11%
4. やや集中力を欠いた	1	5%
5. ほとんど集中できなかった	0	0%



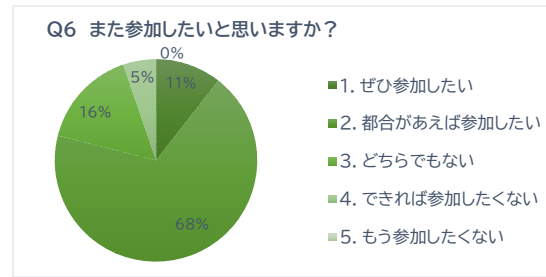
Q4 評価委員会全体の時間の長さはいかがでしたか？	(人)	(%)
1. 長い	0	0%
2. やや長い	5	26%
3. ちょうど良い	12	63%
4. やや短い	2	11%
5. 短い	0	0%



Q5 グループワークの時間の長さはいかがでしたか？	(人)	(%)
1. 長い	0	0%
2. やや長い	0	0%
3. ちょうど良い	16	84%
4. やや短い	3	16%
5. 短い	0	0%



Q6 また参加したいと思いますか？	(人)	(%)
1. ぜひ参加したい	2	11%
2. 都合があれば参加したい	13	68%
3. どちらでもない	3	16%
4. できれば参加したくない	1	5%
5. もう参加したくない	0	0%



その他、評価委員会の運営方法について、提案や改善点、お気づきの点等がありましたら記入してください。

- ・評価委員はもっと若い方の数を増やした方がよいのではと思いました。
- ・より様々な、多くの方の意見があった方がよいと思います。
- ・事前に資料を送付いただきましたが、委員会開催の1週間前で、分厚い資料に目を通すのに期間が足りませんでした。もっと早く送付してほしい。
- ・私は3回目の参加です。1回目に来た時は、当委員会についてよく理解しておらず「頼まれたから来た」という感じでした。しかし、参加していくなかで「事前によく資料を読んで、自分なりによく考えておくことが必要だ」と気付き、2回目、3回目(今回)は、事前に半日ほど時間をとって、準備してきました。他の参加者の方へ、この委員会の意義と、事前の準備の必要性が伝えられるといいと思います。
- ・資料1・2と説明があるが、分かりやすくするために、資料印を付けてほしい。
- ・資料の文字が小さくて見にくいので、もう少し大きくしてほしい。
- ・自分の知らないことを知ることができました。それだけでも参加した意義があると思いました。
- ・自分自身の勉強が足りなかった。・もうちょっと資料がみやすいとよかった。
- ・総花的な評価ではなく、焦点を絞った個別の評価をした方がいい。
- ・気候的には、春又は秋の方がいいと思う(スケジュール的に厳しいか)。
- ・自分の反省点として、もっと事前に勉強しておくべきだった。
- ・資料NO. が付いておらず、説明での資料がよくわからなかった。
- ・資料が多すぎてわかりづらい。
- ・資料をわかりやすく綴じてあるとよい。
- ・初めての参加で、要領が悪く申し訳ありません。資料番号が欲しかったです。グループワークは、知らない方のお話も聞けて良かったです(自分では選べないので、決められていて良かったです)。もう少し意見を言う時間があると良かったです。
- ・課題の多い町だとは思いますが、改善していく事を工夫されているのを感じました。もっといろいろな事に関心を持たないといけないと感じました。
- ・私は評価委員会の目的のひとつに「選択と集中」と「町民との合意形成」があると思っています。「選択と集中」は、町民ニーズや効果的な施策に対して予算配分がされているかだと思いますが、そのためにはニーズの把握・分析による課題の絞り込みが必要です。町民からの意見や要望は、個人の思いつきや我儘を全て叶えて欲しいわけではなく、「役場は町民のニーズをきちんと把握しているのかわからない」という現れだと思います。「役場は当事者ニーズの把握にこんな風に努めています」「ニーズに対し今の物理量でこれしか出来ません。でも代わりにこんな取り組みをしています、そしてこれくらいの効果をあげています」を、町民に丁寧に説明してもらうことで、町民と行政の間に合意形成が生まれます。評価委員会は役場と町民との対話の場ですが、この「合意形成」があと一歩足りないのではないかと感じます。(例えば今回、障害者福祉や教育、事業継承などテーマありましたが、その当事者へアンケートするなどした当事者ニーズの把握・分析ができていない、わからない。なので町民は実態ベースではなく感想でしか意見を言えない。グループワークに議題の担当職員が参加していないためその場の質問に対する説明が不十分。予算のついた取り組みの資料しかなくそれ以外の取り組みが町民に伝わらない。モニターアンケートの意見に対する職員の回答が形式的で冷たい。その回答も公開したという知らせがないのでモニターの人たちは役場から回答があったことを知らない等)。町民は的外れかもしれないと思いながらぼんやりとした感想を言い、役場は四角四面な返答をする、これでは合意形成は生まれません。モニターアンケートに集まる意見も減り、評価委員会の参加希望者も減ってしまったのは「役場の方向性を示し町民に了承を得た」という体裁を作る委員会のように感じてしまうからかもしれません。町民との対話は、職員の問題意識向上のねらいもあるのかもですが、今一度「町民との合意形成」を目的のひとつとして再確認していただき、相互理解のためにもう一歩歩み寄っていただきたいです。その歩み寄りの中でお互いの問題意識も課題もくっきりするのではないかと思います。
- ・計画が先行していて、今まではどうだったかがわからないため、どのように評価して良いかわからなかった。
- ・職員からの説明により理解できた部分があり、深く理解できたと思います。職員の努力をもっと住民に知ってもらえたらと思います。参加した委員にも気づきが多くあったことと思います。
- ・町職員の方々の取組に頭が下がります。
- ・評価にあたり、気になった点があります。予算→行財政→マネジメントとありますが、マネジメントの評価がわかりにくいかなと感じました。